

新たな時代に向かって

「新館オープンを記念して」



白井そろばん博物館

館長 石戸謙一

はじめに

2011年5月22日、白井そろばん博物館は白井市復の地に産声をあげました。私の第二の人生の出発点です。第一の人生は1973年3月に白井市でそろばん塾く石戸珠算学園を開設し始まり、それから46年の歳月が流れました。教室も厳しい時代をくぐり抜け大きく進展したのを確認し、バトンタッチして博物館人生に足場を移しました。開館時は総収蔵品数が300点という内容が淋しい限りでしたが、2019年9月で収蔵品数は2000点を超えており、博物館本来の収蔵、研究、展示にも幅が出てくるようになりました。当博物館の目的は母体である一般財団法人全国珠算連盟の珠算の普及発展と地域社会への貢献にあります。その成果として開設より国内での珠算塾、珠算教室の指導は300教室以上を越え、指導者は全国に500名以上を養成してまいりました。また海外での普及では各界の要請もあり毎年、アジア、ヨーロッパを指導歴訪、また日本の研修に毎年外国人を招いたりと活動を広げております。

このたび、念願でした新館が落成し、展示室も2.5倍に広がりました。白井そろばん博物館は珠算業界の進展はもとより、白井市周辺の地域発展により貢献できますよう努力してまいる所存です。今後とも皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和元年11月10日

白井そろばん博物館

館長 石戸謙一

目 次

①白井そろばん博物館9年の歩み

②日本の代表的なそろばん

<堺そろばん>

<長崎そろばん>

<博多そろばん>

<大津そろばん>

<広島そろばん>

<播州そろばん>

<雲州そろばん>

<京都そろばん>

③海外のそろばん

中国 朝鮮 ロシア ポーランド

④用途別そろばん

視覚障害者用そろばん 武田式 岸高式 明星式 堀江式 半珠式そろばん クラマー式
携帯用そろばん 長いそろばん 幼児用教育そろばん 教授用そろばん そろばん文箱
そろばん電卓

⑤そろばん人形

恵比寿、大黒人形 そろばん狸 そろばん猫 いろいろな人形

⑥そろばん絵画

井上清治 亀川清人

⑦そろばん引札

⑧そろばん道祖神

⑨その他

① 白井そろばん博物館 9年間の歩み

- 2011年5月22日 白井そろばん博物館開館
- 2012年4月 春のそろばんフェスティバル実施 継続中
- 2012年8月 夏の博物館祭り実施 継続中
- 2013年～2018年までにそろばん道祖神20体設置
- 2014年4月 博物館内にレターポストを設置し現役復帰、現在に至る
- 2015年8月 ワールドそろばんフェスタ開催 継続中
- 2016年2月 モンゴルそろばん交流開始 継続中
- 2017年1月 白井市佛法寺にてそろばんはじき初め実施 継続中
- 2018年2月 モンゴルよりホームステイ研修開始 継続中
- 2018年2月 ポーランドよりの研修受け入れと資格認定
- 2019年2月 ドイツよりの研修受け入れと資格認定
- 2019年11月 新館落成

概要	本館 木造瓦葺純和風	新館 木造瓦葺純和風
	敷地面積 264.96 m ²	敷地面積 234.05 m ²
	延床面積 159.82 m ²	延床面積 186.79 m ²
施設	本館1階 第一展示ホール 帳場和室 教室 (石戸珠算学園)	
	本館2階 第二展示室 第三展示室 (体験工房、企画展示)	
	新館2階 第四展示室 第五展示室 (休憩・喫茶室)	
	新館1階 宿泊用施設 (研修生宿泊用 = 8畳シャワー室あり)	
	新館1階 収藏品収納倉庫	
	新館1階 車庫兼イベントルーム	
駐車場	15台 (大型バス駐車可)	

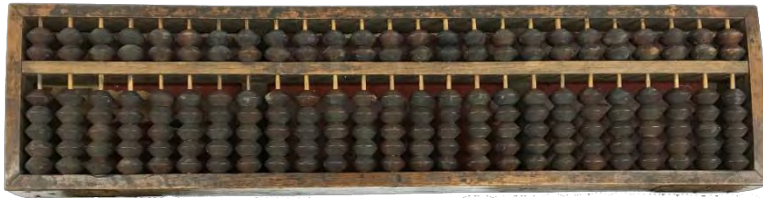


白井そろばん博物館全景

② 日本の代表的なそろばん

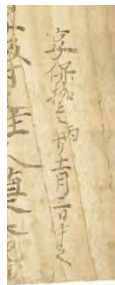
<堺そろばん>

堺そろばんの特徴は大型で座高は高く、枠は斜め組み、珠は凸型、軸は丸竹、裏小板は2枚、釘打ち付けで四隅が金具で補強されている。



No.1074 天2 地5 25桁、縦15.5cm 横61cm 高4.5cm

大型で底板引き出し式、裏板打ち付けにもなっている。通常のもは金具の釘が5本だが8本で補強してあるのも特徴。収納箱に元禄十四（1701年）、享保拾壹年（1726年）と書かれてる。また裏板に短歌も書かれている貴重なもの。

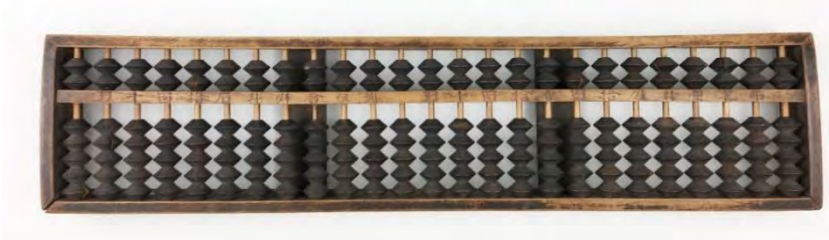


堺そろばんの特徴



<長崎そろばん>

長崎そろばんの特徴は大型で座高は高く、枠は斜め組み、珠は凸型か平型、軸は丸竹、裏小板は2枚でサ形の切り込みに裏小板2枚で補強している。上下枠の三角柄が上下均等も特徴。

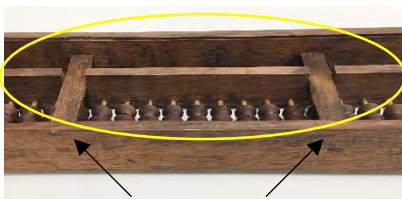


No.127 天2 地5 2 5桁、縦13.3cm 横58.3cm 高4.8cm

長崎そろばんは側板が平らなものが多いがこのそろばんは中央部が高く作ってある。また、梁に書かれている単位文字の最後が弗と書かれている。これはドルと読み、幕末から明治初期にかけて生糸等の取引時の計算に使われたものと思われる。また長年の乾燥による珠の縦割れも長崎そろばんの特徴の一つといえる。



長崎そろばんの特徴



サ形の切り込みに裏小板
2枚で補強している



三角柄が上下均等な位置にある

<博多そろばん>

博多そろばんの特徴は大型で座高は高く、枠は斜め組み、珠は凸型か平型、軸は丸竹、裏小板は2枚でサ形の切り込みは長崎と同じだがサ形の切り込みや端小板との切り込みは本指しになっているのが特徴。

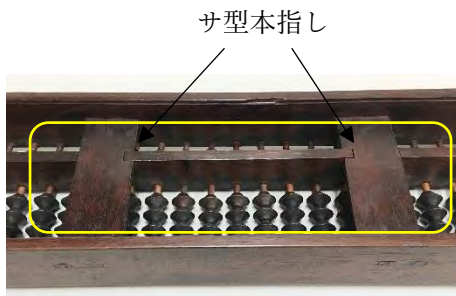


No.275 天2 地5 25桁、縦12.6cm 横53.8cm 高3.7cm

裏小板に明治拾壹年（1878年）戌寅十月世里物〇〇求之 芦屋金屋町 吉永幸右衛門用物と書かれている。小型の博多そろばんでは裏端板が大きいのが特徴。左の端板に四角い穴がけられているのは紐を通して下げようとしたものと思われる。梁に彫られた単位がはっきりと残っているのも特徴。ちなみに左から百十町反畝十歩 千百十石斗カ（升）合勺 十べ百十匁分厘毛と書かれている。



博多そろばんの特徴



<大津そろばん>

大津そろばんの特徴は華奢で軸が細く、枠は斜め組み、枠の上下裏板の表面が平らになるように組まれているのが特徴、本指しとも言う。裏板と裏小板のコントラストが印象的。但し古い時代の物（1800年以前）は大型のものがある。



No.530 天2 地5 27桁、縦7.5cm 横36.5cm 高1.9cm

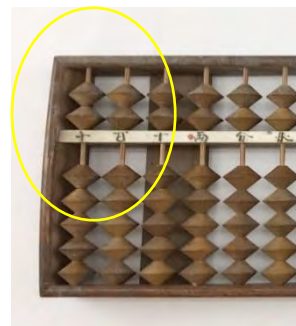
珠、軸とも細く繊細な作りのそろばん。裏に大津追分一里塚庄兵衛と貼り紙がしてある。箱の上部には物差しが付いておりこの作りは1820年代のものが多い。春慶塗の箱に収納されている綺麗なそろばん。



大津そろばんの特徴



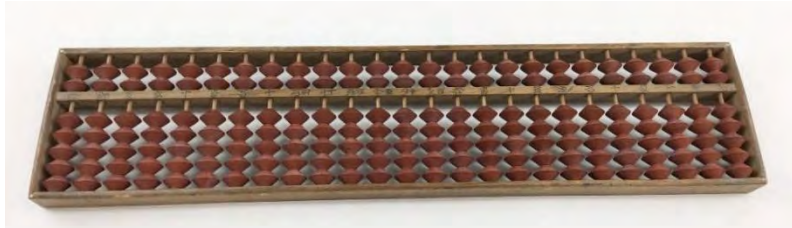
本指し



軸が細く華奢
枠は斜め組み

<広島そろばん>

広島（芸州）そろばんの初期の物は裏板が1枚というのものもあるが裏板はない。枠は直角組みで軸は削り竹、特徴は四隅の軸心に打ち込んだ鳩目が雲州そろばんより大きいこと、また珠は凸珠で梅材が多く、梁は生地仕上げがほとんど。裏に紅梅堂、梅珠堂のように梅を用いた店号が多いのも特徴。



No.320 天2 地5 25桁、縦11.7cm 横53.5cm 高2.8cm

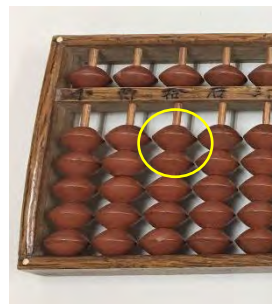
梅珠で作られた少し凸型のそろばん。直角組み、裏板、裏小板はなく梁が頑丈にできているのが特徴。梁は生地仕立て、梁の裏には広島梅林堂と書かれている。明治初期の物で単位の中に圓（円）が書かれている。



広島そろばんの特徴



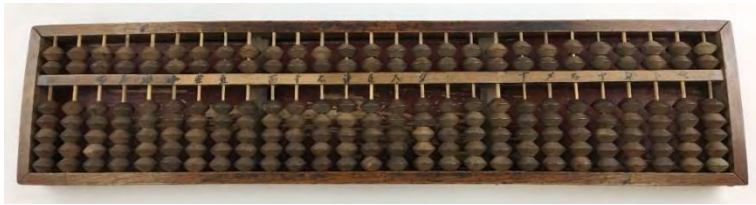
大きな鳩目
枠は直角組み



梅材の凸珠

<播州そろばん>

播州そろばんは斜め組で堺や長崎そろばんと似ているが梁（中棧）に裏小板が釘うちされている。底板打ち付け式の古そろばんはほとんどが播州そろばんといってよい。また、裏小板や箱に符丁が書かれているのも特徴。播州そろばんは分業化の進展もあり、作者名は見当たらない。



No.426 天2 地5 2 7桁、縦 14.8cm 横 65.4cm 高 3.5cm

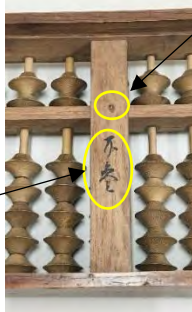
江戸時代初期のものと思われる。裏小板と箱裏には元禄六年（1693年）酉之十一月日、和泉屋与右衛門と書かれている底板引き出し式のそろばん。なお引き出し式裏板には文政10（1827年）年2月とも記されており、引き出し板を取り換えたときに書かれたものと思われる。



播州そろばんの特徴

梁（中棧）に裏小板が釘うちされている

符丁が
書かれている



底板打ち付け式

<雲州そろばん>

雲州そろばんは直角組みで梁（中棧）が太く頑丈にできているものが多い。補助的に接合部に鳩目が打ち込まれている。裏板、裏小板はほとんどない。ほとんどが天1、地5のそろばんだが古い物には天2の物も存在する。雲州住方常作のように銘が入っているものも多い。



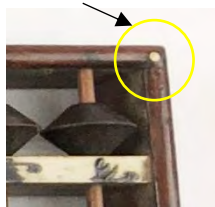
No.1099 天1 地5 25桁、縦10cm 横50cm 高2.7cm

大珠で骨張り、直角組み、裏板、裏小板無し、梁（中棧）裏に安政文四丁巳 雲州亀高住方常作と書かれている。そろばん作りの名人と言われた初代村上吉五郎の作、梁には左から町反敵拾歩 千百拾斗升合勺 千百十貫拾匁分厘毛と単位が書かれている。



雲州そろばんの特徴

枠は直角組み
補助的に鳩目がある



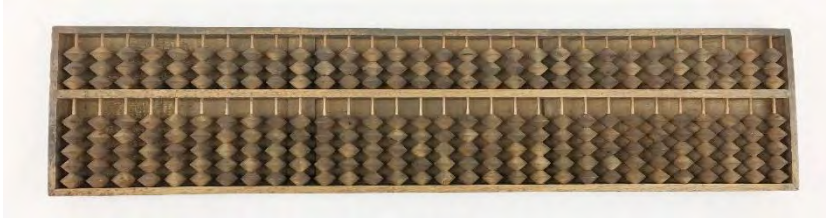
裏板、裏小板はほとんどない



銘が入っている

<京都そろばん>

京都そろばんは斜め組み、本指しで大津そろばんと区別が付きにくい。大津に底板打ち付け式はほとんどなく底板打ちつけ式になっているものは京都そろばんといわれている。また明治期以降には枠を内側斜めに切り込んだ物が多く作られている。



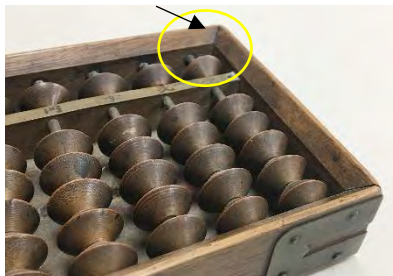
No.453 天3 地5 30桁、縦15cm 横65cm 高3cm

底板打ちつけ式の大珠そろばん。梁は生地のまま単位は書かれていない。底板裏には明治六年九月十九日と書き込みがある。偶数桁の天三そろばんとしては唯一のもので京都の豪商がつくらせたものといわれている。



京都そろばんの特徴

枠を内側斜めに
切り込んでいる



小谷平兵衛の
貼り紙が多い



③ 海外のそろばん

<中国そろばん>



No.355 天2 地5 13桁、縦7cm 横34.7cm 高3cm

清朝(中国)時代1800年代後期の物と思われ梁は生地仕上げ、四隅は金具で補強され、裏小板は梁とは離れているのが特徴。



<朝鮮そろばん>



No.664 天2 地5 15桁、縦18.3cm 横42.1cm 高2.7cm

基本的には中国そろばんだが裏板が底板はめ込み式になっている。梁に単位が書かれていて、左から萬、千、百、拾、両、代、分、厘、毫、司、?となっている。四隅と梁の金具に特徴があり、中国そろばんとの違いを出している。

<ロシアそろばん>

No.1253 12桁、縦28.3cm 横19.7cm

上高4.1cm 下高2.9cm 軸高4.5cm

ロシアそろばんは主に偶数桁で各種作られており、このそろばんは標準的なものと思われる。20世紀初頭まで使われていた物。白珠は5の区切り、四ツ珠は四分の一を表している。



<ポーランドそろばん>

No1084 13桁、縦43.8cm 横28.4cm

上高7.2cm 下高4.6cm 軸高7.2cm

ポーランドそろばんはロシアそろばんとほぼ同じだが、上下の高さの差が比較的小さく、枠のつながりが8, 5このつながりになっていて、上枠には2列の線が入っていて下枠は切り込みが入っている。ロシアとの違いを強調したと思える。

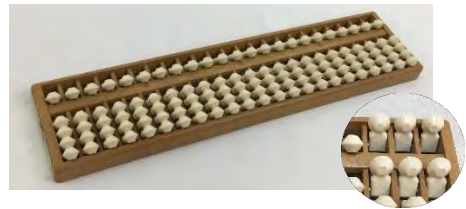


④用途別そろばん

<視覚障害者用そろばん>

<武田式そろばん>

昭和28年頃より東京教育大学（現在の筑波大学）付属盲学校で指導していた武田耕一郎氏が弱視用として考案したもので岸高式そろばんの上部を球形にした物。昭和38年に大量生産して広く普及し現在も使用されている日本の代表的なそろばん。



<岸高式そろばん>

関東式ともいわれ東京盲学校で指導していた岸高丈夫氏が考案したそろばん。枠の下部に位取りがわかるように鉾が打ち込まれている。明星式や堀江式の原型となった物



<明星式そろばん>

戦後愛知県小牧市の鈴木栄氏が岸高式そろばんを改良し、プラスチックで制作した物で全国的に普及し現在でも使用されている。



<堀江式そろばん>

武田式そろばんの製造にあたったボタン商の堀江氏が岸高式を改良してつくったもの。茶色、黄色、白色等のプラスチックで作られている。



<半珠式そろばん>

京都盲啞院で考案され、京都府立盲学校の校長であった古河太四郎氏が考案したといわれている。珠が半分しかない半珠式のそろばん。京都そろばんとして知られている。関西式とも言われている。



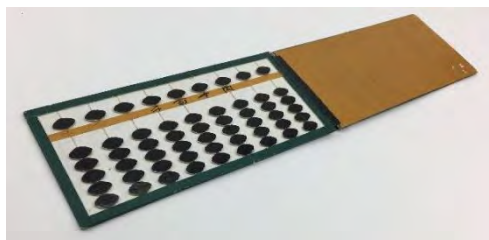
<クラマー式>

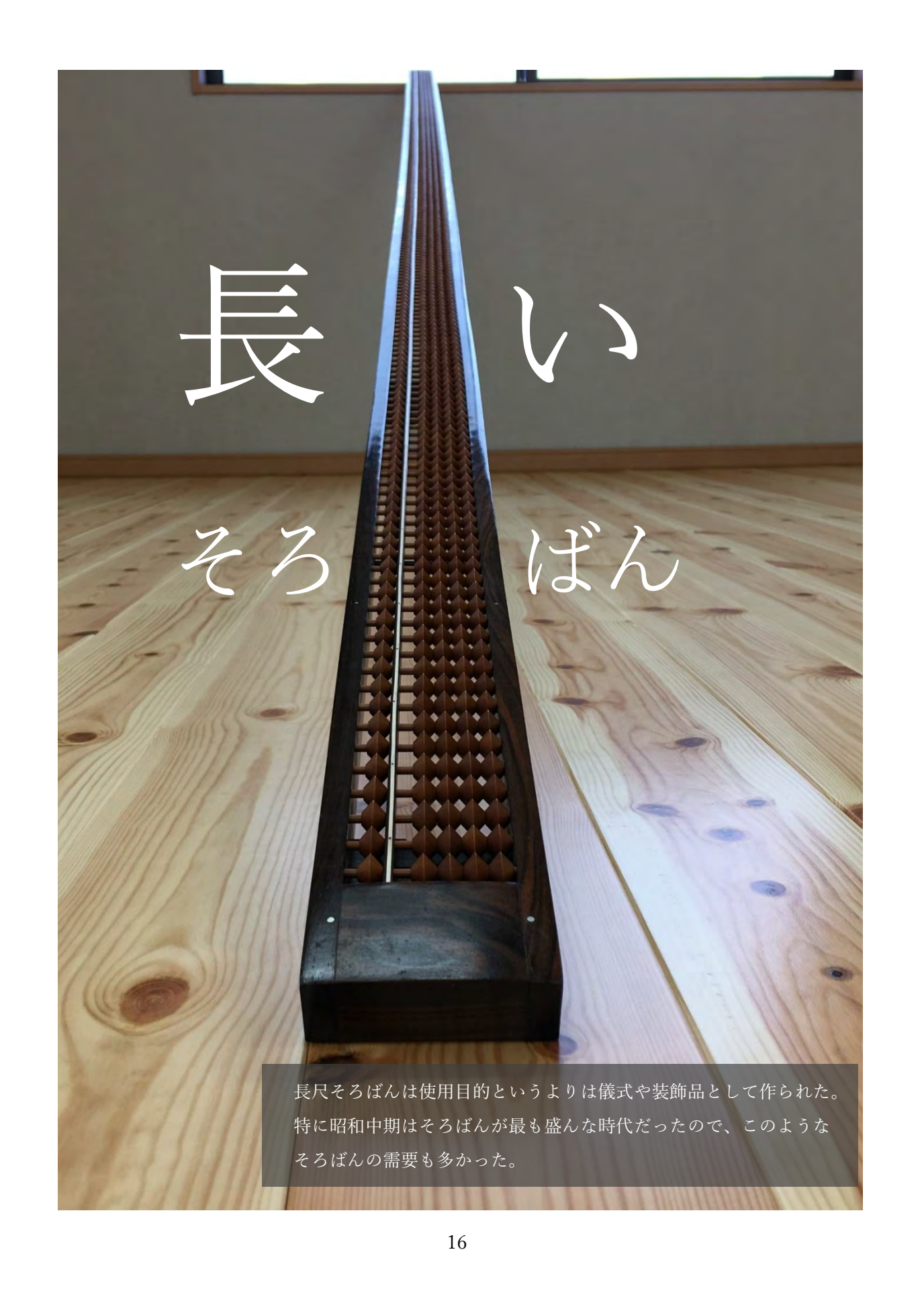
アメリカ人で視覚障害者であったクラマー氏が武田式を参考にアメリカで小型携帯用として製造した。球状の珠の下にスポンジ状の布を入れてあるので珠が乱れない。現在の使用されている視覚障害者用そろばんでは海外で最も多く使われているといわれている。



<携帯用そろばん>

江戸時代から昭和初期までは商人にとってそろばんは必需品であり、外に出歩き商売をした人たちの要請により、携帯用には各種の工夫がなされた。



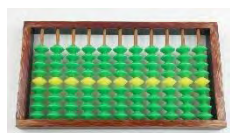


長い そろばん

長尺そろばんは使用目的というよりは儀式や装飾品として作られた。特に昭和中期はそろばんが最も盛んな時代だったので、このようなそろばんの需要も多かった。

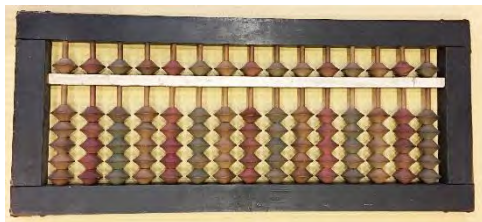
<幼児用教育そろばん>

昭和中期から後期にかけてはそろばん学習者の幼児、低学年化が進み、その対策としてそろばんメーカーが作り販売したが実際にはあまり使用されなかった。



<教授用そろばん>

学校やそろばん塾で使用されたもの。



<そろばん文箱>

文箱（ふばこ）とは、書状などを入れておく手箱、書状を入れて先方に届けるものですが、中にそろばんと硯箱が入った物がそろばん文箱です。商売用に作られましたが主に高級装飾品として作られた物が多い



<そろばん電卓>

代表的なシャープEL-8048 <ソロカル>は昭和54年（1979年）に発売されましたが販売台数はあまり伸びず数年で販売が中止されてしまった。



⑤そろばん人形

そろばん恵比寿

そろばん大黒



そろばん狸

そろばん猫



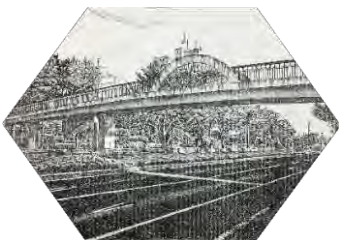
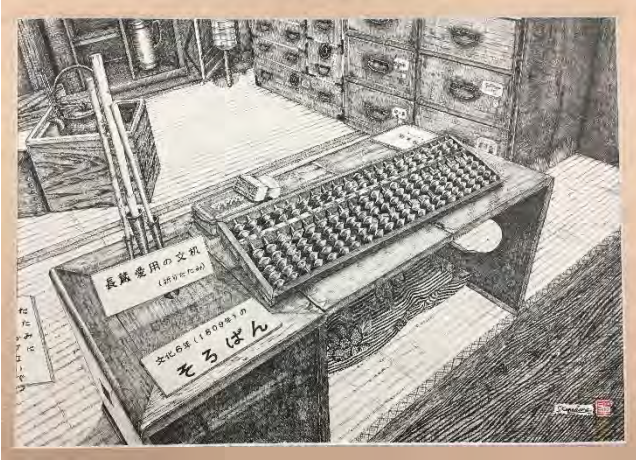


いろいろなそろばん人形





ペン画家<亀川清人>隠れそろばん 10点



⑦そろばん引札

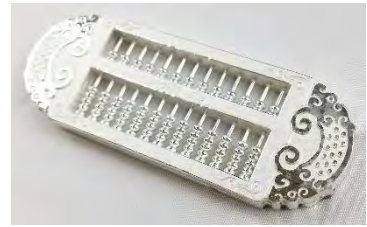
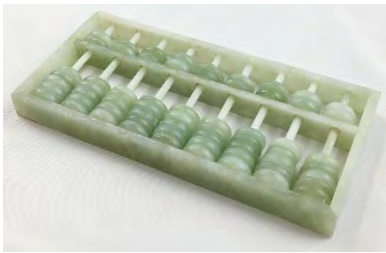


⑧そろばん道祖神

白井そろばん博物館周りの木下街道沿いに設置



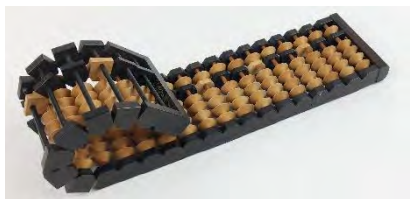
⑨その他 <宝石そろばん>



<孫の手そろばん>



<ロールそろばん>



<2つ折りそろばん>



<そろばん懸け硯>



<世界一そろばん大珠>



<そろばん筆筒>



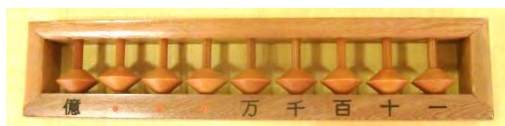
<ななめそろばん>



<ミニそろばん>



< 数え板 >



<そろばん掛け軸>



<算数計算器>

<算木>



<そろばん罽>



<そろばん行灯>



<そろばん兜>



<そろばん看板>



<銭枧>



<そろばん書籍、和算書>



<清明上河図>





白井の梨



レターポスト



白井そろばん博物館



紅葉



白井そろばん博物館

〒270-1422 千葉県白井市復 1459-12

電話：047-492-8890

URL：<https://www.soroban-muse.com/>